

日本剣道形 太刀の形解説 五本目

項目	五本目
動作の解説	<p>① 打太刀は諸手左上段、仕太刀は(1)中段で、打太刀は左足から仕太刀は右足から、互いに進み、間合に接したとき、打太刀は機を見て右足を踏み出すと同時に諸手左上段から、仕太刀の(2)正面を打つ。 <small>注(1) 剣先を左拳につけ、刃先は下を向く。 (2) 顎まで切り下げる心持ちで打ち下ろす。</small></p> <p>② 仕太刀は、左足からひくと同時に左鑓で打太刀の刀を(1)すり上げ、右足を踏み出して正面を打ち、右足を引きながら諸手左上段に振りかぶって(2)残心を示す。 <small>注(1) すり上げは両腕の間から相手の体が見える程度に行う。なお、払い面にならないように注意する。 (2) 残心は一本目と同じように剣先を打太刀の顔の中心につけてから上段にとる。</small></p> <p>③ 打太刀が剣先を中段につけ始めるので、同時に仕太刀も左足をひいて剣先を中段に下ろし、相中段になる。打太刀は左足から、仕太刀は右足から小足三步で、刀を抜き合わせた位置にもどり、剣先を下げた元の位置にかえる。</p>
指導上の留意点	<p>1 打太刀が打ち下ろす時は特に十分踏み込んで大技に正面を目がけて打ち、仕太刀の刀を目がけて打ち下ろさせないようにする。 2 仕太刀は頭上ですり上げ、一拍子に正面を打ち、すり上げた時に剣先が下がらぬようにさせる。</p>
審査上の着眼点	<p>打 諸手左上段から仕太刀の顎まで切り下げる気もちで諸手を十分伸ばして正しく正面に打ち下ろしているか。 打 すり上げられた刀は自然に刃先をやや左にし、右斜め下に下がっているか。 仕 打太刀の刀を左鑓で頭上ですり上げ一拍子に正面を打っているか。 仕 残心を示す時、右足をひきつつ剣先を打太刀の顔の中心につけながら諸手左上段に構えているか。</p>

出典:全日本剣道連盟「日本剣道形解説書」より